



公開されている情報を有効に活用する

①完成度の高い申請書をどのように手直しするのか？

5月は持続化補助金の締め切りがあり、事業者様の相談対応に追われていた方も多いのでは無いでしょうか？私も多くの支援機関様のご依頼を受け、昼夜や平日祭日問わず、セミナーや個別相談に対応させていただきましたが、今回は追加公募と言うことで、前回、採択にならなかった事業者様の相談が多く、「ベースの申請書があるのでアドバイスし易い」半面、「かなり完成度が高い申請書の場合、手直しの余地がほとんどない」ということが多かったように思います。

実際、「これ以上手直しする点が見当たらないのでアドバイスして欲しい」と相談される指導員の方も多く、一緒に頭を悩ませながら、なんとか対応させていただきました。良い結果になると良いのですが…。

②手直しするなら「顧客ニーズと市場の動向」

完成度の高い申請書を修正する場合にも、もちろん、全ての項目について手直しを行うことになりますが、個別相談など短時間でアドバイスする時には、私の場合、経営計画書の「2. 顧客ニーズと市場の動向」の項目を中心にアドバイスを行います。

経営計画書といっても、最終的には補助金を使うことが目的になるので、経営計画書から補助金までのストーリーがスムーズに繋がると読み手である審査員がわかりやすくなるはずです。経営計画書の中で、補助金までのストーリーに最も密接にかかわるのは「2. 顧客ニーズと市場の動向」になるので、ここが読み手に取って「わかりやすい」ければ、「取り組みが納得できる」「実行できそう」という判断に繋がります。審査点の向上に良い効果があるかもしれません。

③充実させる余地が大きい「市場の動向」

持続化補助金の記載項目の、「2. 顧客ニーズと市場の動向」については、しっかりと「顧客ニーズ」を記載することはもちろんですが、「市場の動向」についても、しっかりと記載する必要があります。申請書の完成度が高い場合、手直しする余地は少ないですが、市場動向については調べればいくらかでも記載内容を充実できる箇所でもあります。実は意外と記載が不足している箇所もあり、差が付きやすい箇所でもあります。理由としては「情報の調べ方がわからない」ことが多いと思います。

市場動向を記載する時には、単に「市場が伸びている」とか「高齢化が進んでいる」のように書くよりも、統計資料などを使ってしっかりとした情報を記載することで、より、説得力が高まります。

④市場動向の調べ方

市場動向を調べる際に参考にする資料としては、代表的なものとして下記のようなものがあります。ご利用している人も多いと思います。

- a. 業種別審査事典・・・業界動向がわかります
- b. 市場情報評価ナビ (MieNa)・・・商圏の状況がわかります
- c. 家計調査年報・・・一世帯当たりの支出や市場規模がわかります

業種別審査事典や市場情報評価ナビは、支援機関等で購入、もしくは契約して利用できる場合もありますし、それができないようであれば、大きな図書館で利用できる場合もあります。家計調査年報については、統計局のホームページから検索されたら便利だと思います。

そのほかに、オスムの情報収集先をご紹介します。どの情報も無料で使用できるのが驚きの充実ぶりです、私も良く利用させていただいています。ぜひ、サイトにアクセスしていただいで、お仕事にご活用いただけたらと思います。

⑤オスムの情報収集先

*博報堂生活総合研究所「生活定点」 (<http://seikatsusoken.jp/teiten/>)

これは、博報堂生活総合研究所が実施した、過去24年にわたる定点調査の結果で、生活者観測データ約1,500項目が公開されています。食に関する動向や社会意識、暮らし向きなど、多様な項目が調査されています。

申請書や事業計画などの作成にも使えますし、ビジネスのアイデアを考える時の参考にもなります。ぜひ、参考にいただき、説得力のある資料づくりに役立てていただけたらと思います。



*地図で見る統計「統計GIS」 (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/toukeiChiri.do?method=init>)

このページは、国勢調査などの政府統計データを地図や図表で「見える化」することができます。無料で使用できるのが驚きのマニアック仕様なのですが、「国勢調査は5年毎なので情報がやや古くなること」「操作がマニアック過ぎて使いにくい」「ある程度の通信速度やPCのスペックが必要」などの弱点があります。私の場合、出店やリニューアルの仕事で使用していますので、住民基本台帳の最新データと組み合わせて利用することが多いです。e-stat自体、その他にも使える情報が豊富です。



*企業価値検索サービス Ullet (ユーレット) (<http://www.ullet.com/>)

このページは、上場企業約4000社の決算情報やそれに関わる情報を一瞬で検索できるサイトです。上場企業の決算書データは、ネット上で誰でも閲覧することが可能です。しかし、データが膨大で必要な情報だけを取り出すのは困難です。

このサイトは、有価証券報告書やニュースなどの公開データを自動収集し、誰でも簡単に検索することができるだけでなく、グラフなどで視覚的に閲覧できるのも特徴です。スマホでも利用できますし、業界動向の把握などに活用いただけたらと思います。



Book review 『倉敷・平翠軒のごちそう宝箱』 著者：森田 昭一郎 出版社：小学館 価格：918円 (税込)

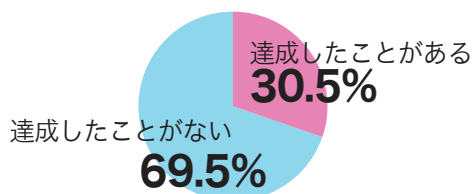
タイトルにもなっている「平翠軒」は、岡山県の倉敷市的美観地区にある食のセレクトショップで、今話題のGINZA SIXにも出店するなど注目の店舗です。本の著者でもあり、店主の森田氏が全国の選りすぐりの旨いものを探し出して取り扱っているそうです。著名人が通い、デパートのバイヤーが舌を巻く品揃えの店舗ですが、その中でも選りすぐりの44品が紹介されているのがこの一冊です。

私がお支援させていただいた企業様の商品が掲載されていることもあり、購入させていただいたのですが、商品の特徴やデザイン、パッケージなど、こだわり商品を開発する際の参考になるとも思います。もちろん、こだわりの食を楽しむことにも使えますので、食にご興味のある方にオススメです。



先日、とあるWebサイトに20～30代の会社員男性200人に実施した、目標達成に関するアンケート（R25調べ/協力：アイリサーチ）を見かけましたので、ご紹介します。まずは、目標達成できたかどうかの質問です。

社会人になってから、
節目に立てた目標を達成したことはある？



目標を達成した人によれば、達成した内容として、営業数字の達成など「仕事関係」や、資格取得など「勉強関係」が多かったようです。

興味深いのは、次の質問です。

「達成したことがない」と回答した139人に向けて、目標を達成できなかった理由をあげてもらったところ、次の回答がありました。

目標を達成できなかった理由TOP5 (8項目から上位2つを選択。1位=2pt、2位=1ptとして計算)

1位 目標を立てたこと自体を忘れてしまった 107pt

2位 忙しくて目標どころではなかった 65pt

3位 目標が曖昧すぎた 52pt

4位 動機が弱かった 42pt

5位 目標が高すぎた 40pt

1位の「目標を立てたこと自体を忘れてしまった」という回答が、意外と思える一方で、自分にも当てはまり、ハッとするような回答だったのではないのでしょうか？

支援先にて、企業の経営計画策定や、社員の目標設定などのアドバイスをする一方で、その後のフォローでお伺いすることもあります。定期的にお伺いしている顧問先では計画や目標を忘れないように確認する仕組み・仕掛けができていますが、そうでない先では、「計画を作ったまま、見ていない」などの話をお伺いします。計画策定も重要ですが、その計画を忘れない仕組み・仕掛けの取り組みが、今回のアンケート調査でもご理解いただけたと思います。

Writer 吉田 英憲

大手電機メーカーでITソリューションの営業、市場調査、経営企画などの業務を経験。現在は、ビジネスプランの作成支援の他、採算分析を踏まえた赤字企業の立て直し、業務効率化(IT活用含む)、後継者の立場に立った事業継承などの支援を行っている。中小企業診断士

中小企業向けのセミナーやワークショップを企画するにあたり、業界の最新動向をふまえてテーマを決めていきます。業界の最新動向にであうために様々な情報収集をおこなうのですが、今回は主にネット公開されている誰でも使える最新のコンテンツや事例集をご紹介します。

■ IOTに関する事例集

中小ものづくり企業IoT等活用事例集（関東経済産業局）

http://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/joho/20170428iot_katsuyo_jireishu.html

今年はIoT元年と言われており、IoT関連の事業への関心が一層高まっていることと思います。4月末にリリースされた本事例集は、中小ものづくり企業の課題及びその解決策としてのIoTに着目し、ビジネスモデルとして類型化しています。加えて、IoTのシステムを提供するIT会社の視点・情報も提供されており、IoTを活用するには、両者が二人三脚で開発を進めることの重要性などもよく分かる構成となっています。

■ 宿泊事業者向け生産性向上に関する動画・事例集

宿泊業の生産性向上事例集～カイゼンで人手不足解消！～（観光庁）

<http://www.shukuhaku-kaizen.com/>

人手不足の解消のために、人材育成・標準化・シフト改善・IT化等に取り組む宿泊事業者の事例を動画（7本）で紹介しています。現場を写した動画で非常に分かりやすく、費用をかけずにできそうな事例を紹介してくれていますので参考になると思います。また、事例集ではさらに細かいテーマを設定して全国の好事例を紹介しています。

観光庁のHPではこのような動画等を使った宿泊・観光関連事業者向けの情報が定期的にアップされていますので、チェックしてみるといいですね。

■ ECに関する動画

完全無料！中小企業のための本気のEC講座【ebizアカデミー】（中小機構）

<http://ec.smrj.go.jp/online/>

中小企業者の経営にとっても不可欠となっているECですが、まだまだ苦手な事業者も多いと思います。このサイトは主に初心者向けにECを活用するために必要なことが網羅されています。最近になって、EC関連のテーマで人気のある「SNS活用」や「ITによる生産性向上」というテーマが追加されるなど、定期的に情報のアップデートがおこなわれています。

気になるテーマだけ学習できるのも本サイトのよいところですね。

今回は事業者にすぐに展開できそうなサイトを3つご紹介しました。動画サイトなどは経営者だけでなく現場従業員にも活用できるものだと思いますので、ご活用いただきたいと思います。

Writer 小倉 綾

百貨店に入社後、仕入、販売や在庫管理販売促進の企画、運営、販売員教育業務や首都百貨店とのコラボレーションショップ店長として新規ショップ立ち上げを経験。現在、流通業やメーカー向けに販売促進や売場改善を中心としたコンサルティングを行っている。中小企業診断士